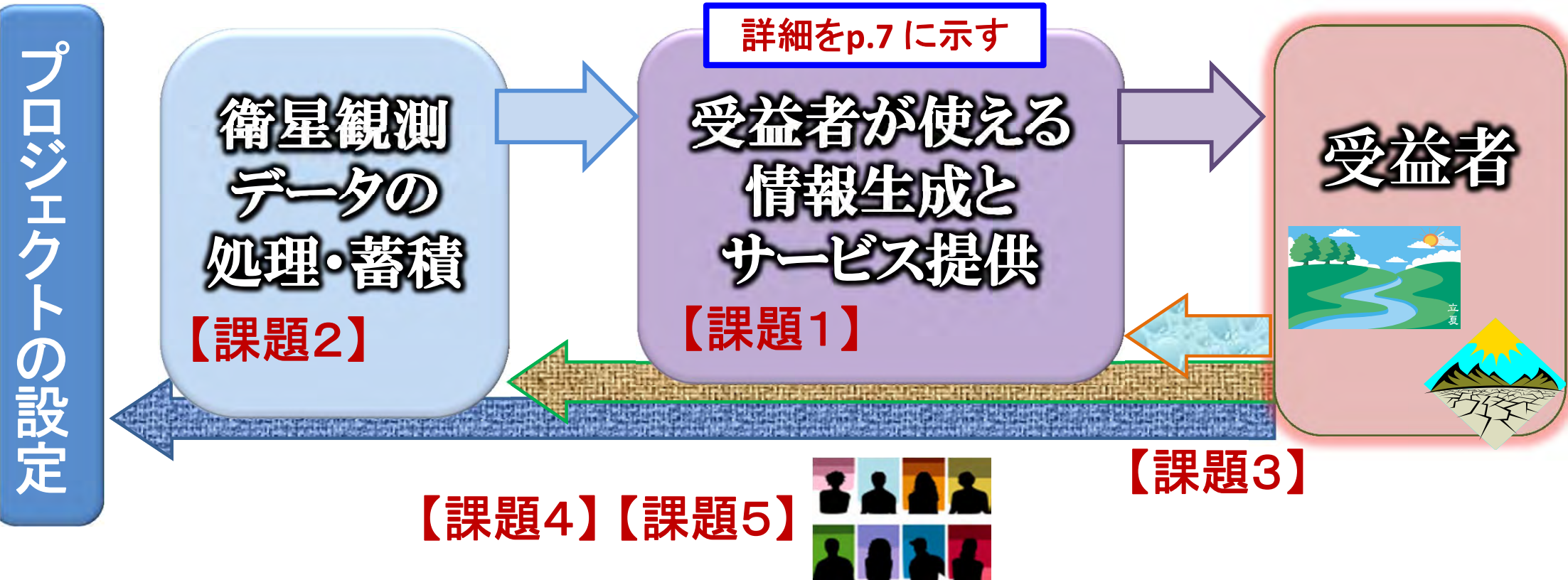


4. 衛星観測データの利用拡大



- 【課題1】 受益者が使える情報生成、サービス提供の仕組み構築
- 【課題2】 種々の観測衛星のデータ蓄積、提供の仕組み構築
- 【課題3】 受益者からのフィードバックを反映する仕組みの構築
- 【課題4】 リモセン衛星と測位衛星・通信衛星の複合利用の促進
- 【課題5】 上記全サイクルでの、持続する運営、新たなビジネスの創出

1. 基盤情報を作製

- 衛星と種々の地上データを統合
- これを数値モデルと融合し予測

多様な地上情報を活用

- 地上・航空機等の観測データ
- 数値モデルによる予測データ
- 社会・経済データ、統計情報等

2. 利用目的に応じて 必要な情報を生成

- 目的に応じカスタマイズ

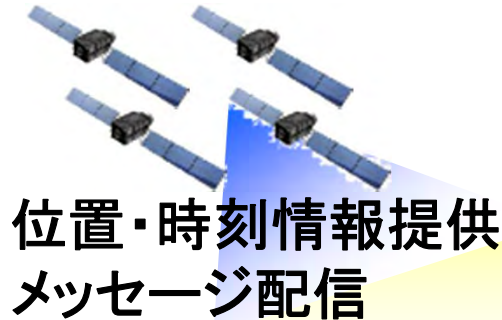
- I. 企業、利用省庁、自治体、大学、研究機関、JAXAが知見を糾合
- II. 仕組みを設計・試行し、成功事例を創出
- III. 仕組みを定常的に運営

3. 受益者に 課題解決のソリューションを提供

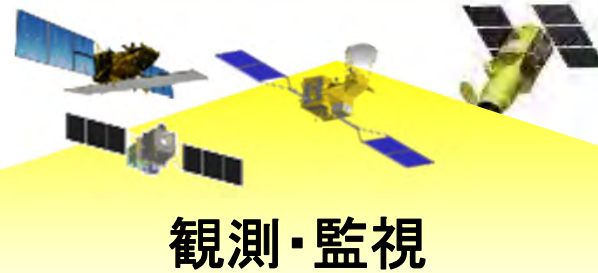
- ビジネスや行政サービスにて実施

- 防災利用のアイデア【実用化には専門組織との調整が必要】 -

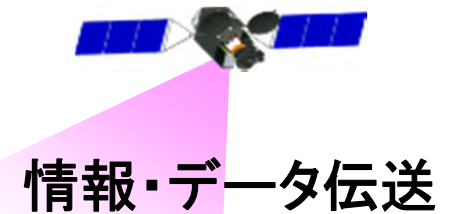
測位衛星



リモートセンシング衛星



通信衛星



発災前

減災・事前準備:

- ・ハザードマップ作成 [リモセン+測位]
- ・早期警戒システム (津波・地殻変動) [測位+通信]



発災直後

災害応急対応:

- ・緊急観測 [リモセン]
- ・情報・データ伝送 [通信]
- ・避難メッセージ配信 [測位]



発災後

復旧・復興:

- ・継続監視 [リモセン]
- ・地形図更新 [リモセン+測位]



情報共有 (Web-GIS)